

# 地域公共交通の価値を定量化する

～クロスセクター効果算出のすすめ～

発表者：クロスセクター効果研究会、近畿運輸局 交通企画課、北陸信越運輸局 交通企画課

クロスセクター効果研究会世話人

西村 和記/株式会社丸尾計画事務所 東 徹/一般社団法人システム科学研究所 西堀 泰英/大阪工業大学特任准教授  
中井 睦/近畿運輸局 富樫 慎/特定非営利活動法人 SCOP 土井 勉/一般社団法人グローバル交流推進機構 喜多 秀行/神戸大学名誉教授

## はじめに クロスセクター効果が なぜ求められているのか？

地域鉄道・路線バス事業者の8割程度は赤字であり様々な財政支援が行われている。また行政が運行を担っているコミュニティバスなどは財政支援が前提となっている。

財政部局や納税者に、この財政支援が妥当であることを説明することは、政策推進のために不可欠なことである。しかし、これまで地域公共交通を支える意味を定量的に評価する確立された手法がなかった。

そこで我々は、地域公共交通の価値を定量的に測定する方法を考え、実践したところ、財政支出が及ぼす効果が見られることから、それをクロスセクター効果(CSE=Cross Sector Effects)と名付け、その計測に取り組んでいる。

## クロスセクター効果研究会の活動



クロスセクター効果研究会  
<https://www.facebook.com/groups/860767114523183/people>

令和2年度には、北陸信越運輸局においてCSEを算出できる簡易ツールが作成され、ホームページで公開されている。令和3年度には「クロスセクター効果研究会」を設立し、ほぼ毎月のペースで事例紹介や意見交換を実施している。

クロスセクター効果研究会では今後とも、①CSEの取組の普及、②CSEの算出方法の洗練化、③クロスセクター効果算出ガイドライン・オプション版の作成、④CSE研修会の開催、⑤行政分野以外のCSEの定量化に、取り組んでいく予定である。

本研究に多くの行政実務者や交通事業者・研究者が関心と関わりを持っていただくことを期待しており、クロスセクター効果研究会に参加を希望される方は、QRコードから研究会までご連絡いただきたい。

## 公共交通に関連する多様な分野



## 「2023年度：クロスセクター効果算出ガイドライン標準版」の発行と研修会

2018年3月発行の国土交通省近畿運輸局のリーフレット「地域公共交通 赤字=廃止でいいの?」によりクロスセクター効果の意義と重要性が公開されて以降、全国各地で地域公共交通の価値を定量化し、政策に反映していく取り組みが増加してきました。

しかし、これまでのCSE算出については、西村ら<sup>1)</sup>がまとめた論文と、これをベースにして地域の状況などに応じて様々な工夫がされた算出方法が考案されている状況であり、まだまだ誰もが算出できる状況ではありませんでした。

そこで、各地で交通政策に取り組んでいる人たちに議論の場を提供し、CSEの活用と算出方法についての洗練化に取り組むために、2021年4月にCSE研究会を立ち上げて情報交換と算出方法の定式化の検討を継続してきました。このような議論を積み上げて、2023年夏にCSE算出に際して基本的な内容を取りまとめた「標準版」を発行することになりました。

今後は「オプション版」として、地域公共交通の廃止により想定される代替施策のうち、算出が少し複雑なもの(道路整備費用など)や、現状ではまだ一般的でない代替施策の算出方法を取りまとめていく予定です。

(参考資料) 1) 西村和記, 東徹, 土井勉, 喜多秀行:クロスセクター効果で測る地域公共交通の定量的な価値, 土木学会論文集D3(土木計画学), Vol.75, No.5 (土木計画学研究・論文集第36巻), I\_809-I\_820, 2019.

「ガイドライン標準版」の内容を紹介する研修会を、下記のとおり開催しますので、奮ってご参加ください。

## 研修会概要

参加者には「ガイドライン」をPDFでダウンロード出来るようにします。

主催：クロスセクター効果研究会 共催：一般財団法人地域公共交通総合研究所

開催日時：2023年10月31日(火) 14時開場、14時30分開始、17時20分終了

会場：大阪市内:ドーンセンターで対面40名程度 +オンライン100名程度

〒540-0008 大阪市中央区大手前1丁目3番49号 ドーンセンター

<https://www.dawncenter.jp/shisetsu/map.php>

## プログラム

総合司会：大阪工業大学准教授 西堀 泰英氏

①開会挨拶 CSE研究会代表:土井 勉氏 10分

②CSEの実務的な展開 40分

▶これまでの取り組み：近江鉄道・さくらやまなみバスなど・神戸大学名誉教授 喜多 秀行氏 20分

▶行政での実践・福崎町地域振興課課長補佐 藤田 裕文氏 20分

③CSEと交通政策：研究的視点と国土交通省から 40分

・神戸大学大学院教授 小池 淳司氏 20分 ・国土交通省総合政策局地域交通課長 墳崎 正俊氏 20分

- 前半についての質疑 10分 - 休憩 10分

④「CSE算出ガイドライン標準版」の内容 丸尾計画事務所:西村 和記氏 40分 質疑 10分

⑤閉会挨拶と今後の展開 地域公共交通総合研究所副理事長:大上 真司氏 10分

## 申し込み方法等

参加費：無料

参加方法：

①対面参加(先着40名)

②オンライン参加  
zoom参加(先着100名)

YouTube配信  
(人数制限なし、視聴のみ)

申し込みには、下記のQRコードからお申し込みください。  
申し込みフォーム↓



- ①メールアドレス
- ②お名前
- ③所属
- ④対面参加かオンライン参加の選択を明記してお申し込みください。

※10月20日(金) 17時までに申し込みをお願い致します。